



LIFE SCIENCE WATER APPARATUS

LeveLuk SD 501U

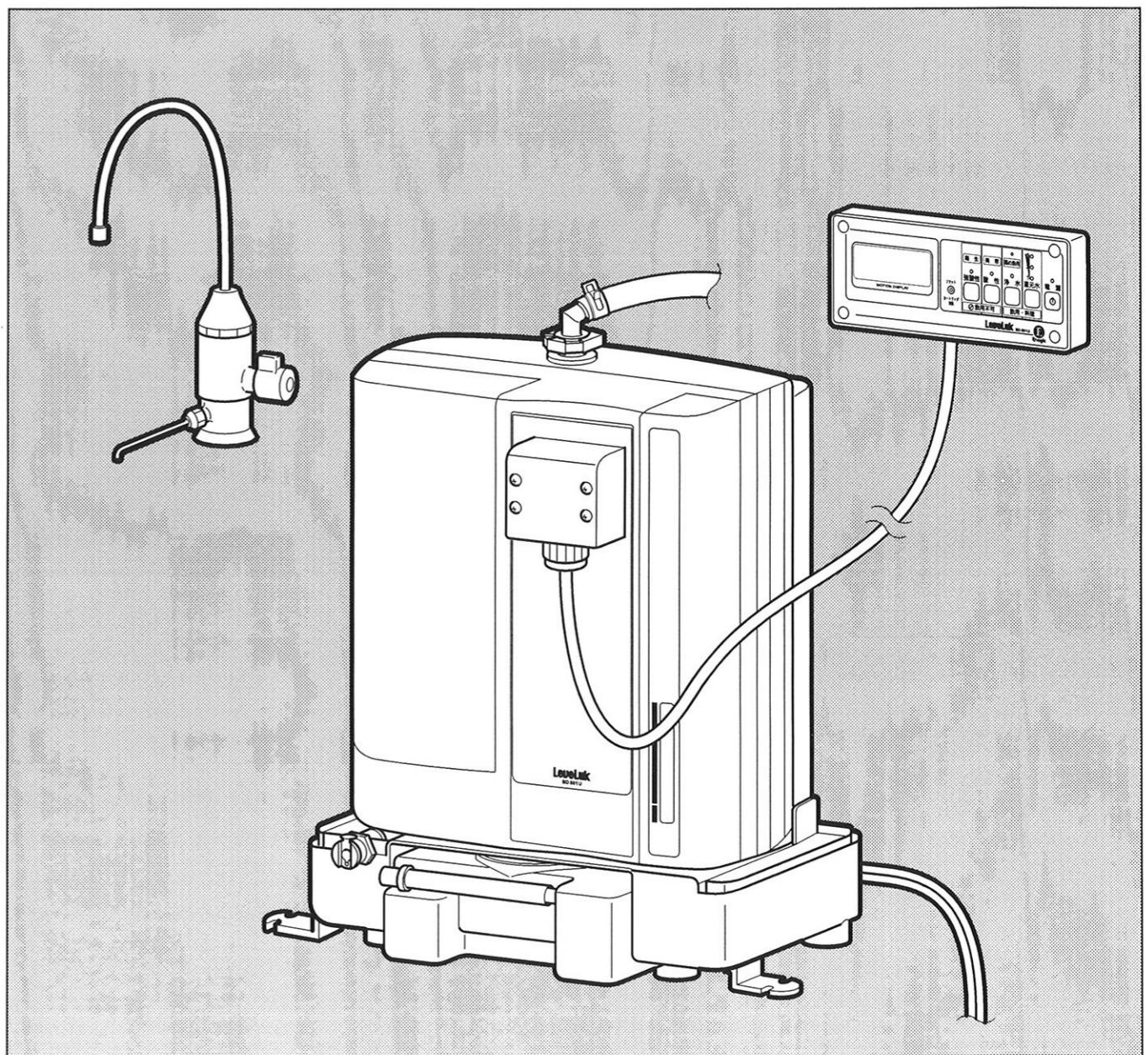
還元水・強酸性水連続生成器

TYU-401E

施工説明書

保管用

- 必ずお読みください。
- 正しく施工してください。
- 必ず保管してください。



※ご不明な点は、お求めの販売店または下記フリーダイヤルへお問い合わせください。

総発売元 株式会社エナジック



医学
団体 日本成人病予防協会認定品

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目1番6号 越前屋ビル7F
TEL.03-5205-6030 FAX.03-5205-6035

フリーダイヤル ハヨヨイミズニ
0120-84-4132

受付時間：平日 9:00～18:00 (日・祝日休み)
土曜 9:00～17:00

販売店

目 次

安全上のご注意	2
施工上のお願い	5
付属部品一覧	6
オプション一覧	6
工具一覧	6
付属部品の確認	7
寸法図	8
作業の流れ	9
施工前の確認	10
本体の取り付け手順	12
本体の固定	23
本体の設置と接続の確認	24
最終点検（水漏れ、動作）	25
正常に動作しないとき	27
標準仕様	28

安全上のご注意

必ずお守りください

安全上のご注意

●本書中のマークについて

本書では、いくつかのマークを用いて、重要な事項を記載しています。

それぞれのマークについては、下記に説明いたしますが特に次の警告・注意マークがついている文章は、必ずお読みください。

危険度の目安



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、最悪の場合、人命にかかわる可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

●表示マークの説明

マーク	タイトル	意味
	一般	特定しない一般的な注意、警告、危険の通告に用いる。
	一般	特定しない一般的な禁止の通告に用いる。
	一般	特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示に用いる。
	分解禁止	機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告に用いる。
	電源プラグをコンセントから抜く	故障時や落雷の可能性がある場合、使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示する表示に用いる。

※ここに示した注意事項は「△警告」「△注意」に区分していますが、誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを、特に「△警告」の欄にまとめて掲載しています。
しかし、「△注意」の欄に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれの場合も安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※正しい設置を設けていても、正しく使用されなかった場合の製品の故障、事故については当社は責任を負いませんのでご了承ください。
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

移設時・修理時の注意



●ご自分の修理・改造や再設置は絶対におこなわないでください。
感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります。

●移設時／修理の場合は販売店または工事店に必ず依頼してください。
自分で工事をされ不備があると、感電・水漏れの原因となります。



●水道水のみを使用してください。(井戸水は使用不可)
水質基準に適合しない水を使用すると、故障や水漏れの原因となります。

使用時の注意

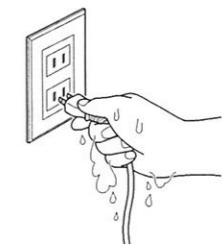


●飲用に合格した水（水道水など）以外には使用しないでください。
殺菌能力がなく、有害物質が除去できないため、飲むと体調を損なう原因になります。

●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外で使用しないでください。
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

●電源コードを、ステープル（□）などで固定しないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

●配管部以外は、絶対に分解したり、修理・改造はしないでください。
誤った電気工事は、感電や火災の原因になります。



●電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。
・傷つける・加工する・熱器具に近づける・無理に曲げる・ねじる・引っ張る
・重い物を載せる・束ねる・はさみ込むなど

●ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。
・感電の原因になります。

●設置は、この施工説明書に従って、確実に行ってください。
火災・感電の原因になります。

●コンセントの設置は、電気設備技術基準や内線規程に従い、安全、確実に行ってください。
誤った電気工事は、感電や火災の原因になります。
・コンセントの設置は、電気工事士の方が行ってください。

●電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。
・傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

施工上のお願い

⚠ 注意

🚫	<ul style="list-style-type: none"> ●天然大理石、ホーローのキッチンには取り付けないでください。 カウンタートップを破損するおそれがあります。 ●カウンタートップが厚さ35mm以上の場合、穴あけしないでください。 取り付けができませんので、万一、穴をあけた場合に補償問題になることがあります。 ●カウンタートップや流し台(キャビネット内)に穴をあけるときは、屋内配管を傷つけないでください。 万一、水漏れが起こると、大きな補償問題になることがあります。 ●壁面取付タイプの水栓には、取り付けないでください。 配管が不明確なので、取り付けができなかったときに補償問題になります。 ●生成水専用蛇口の先に他の機器を接続しないでください。 生成器本体の二次側に異常な水圧がかかり、水漏れの原因になることがあります。 ●ホース類を、折り曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしないでください。 水漏れの原因になることがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品は、本体・生成水専用蛇口および付属部品をセットで使用してください。 万一、水漏れが起こると、大きな補償問題になることがあります。 ●生成器本体は平らな場所に設置してください。 不安定な場所に設置すると、けがや機能不備の原因になることがあります。 ●配管は、特に水漏れのないよう確実に接続してください。 万一、水漏れが起こると、大きな補償問題になることがあります。 ●配管・ホースは、水漏れのないよう確実に行い、特にホースバンドなどは、確実に取り付けてください。 確実に接続されていないと、ホースがはずれて漏水し、家財などを損傷させる原因になることがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●カウンタートップの穴あけには、材質に合った工具を使ってください。 特殊なものについては、キッチンメーカー指定の工事方法で行ってください。 無理に穴あけすると、カウンタートップを破損する原因になります。 ●最終点検時は、生成水専用蛇口を含む配管接続部全体の水漏れ点検を十分に行ってください。 万一、水漏れが起こると、大きな補償問題になることがあります。

●次のような場所には設置しないでください。(故障の原因になることがあります)

- ・高温部(40°C以上)の近く
- ・本体に水のかかるところ
- ・屋外や風雨のさらされる所
- ・油の付着する所
- ・凍結の可能性のある所(本製品は寒冷地仕様ではありません)

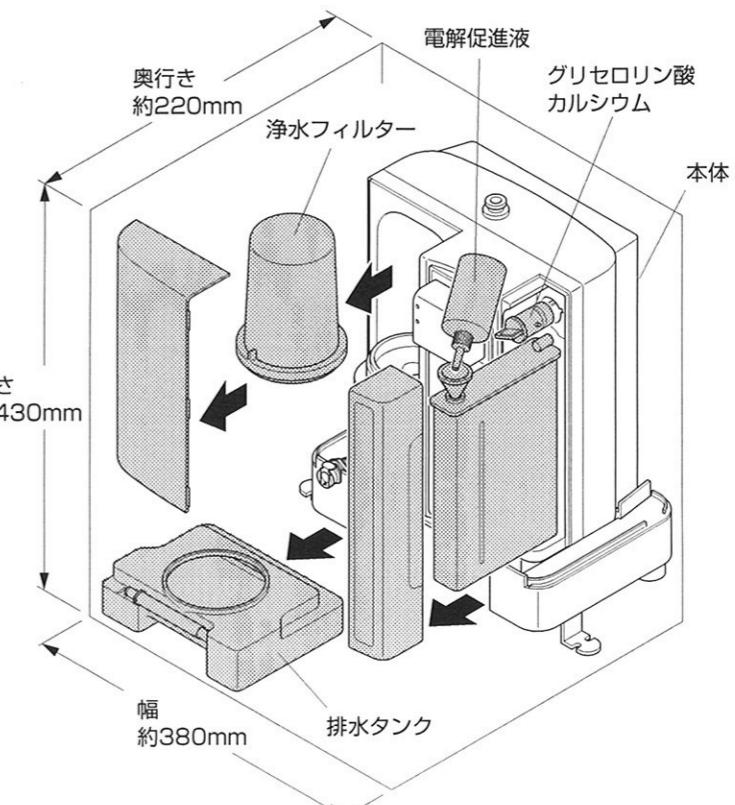
●配管工事はすべて建築基準法、水道法、各都市の条例に準じて行ってください。 なお、シンクの種類、フロアキャビネットの組み合わせによって配管方法が異なります。

●設置場所は、流し台(キャビネット内)に取り付ける棚やオプションの位置によって決めますが、必ずお客様とご相談のうえ、浄水フィルターの交換・排水タンクの取りはずし、およびグリセロリン酸カルシウム・電解促進液の添加が容易な位置に設置してください。

設置には下記寸法のスペースが必要です。

※設置スペース
高さ 430mm 幅 380mm 奥行き 220mm
を確保してください。

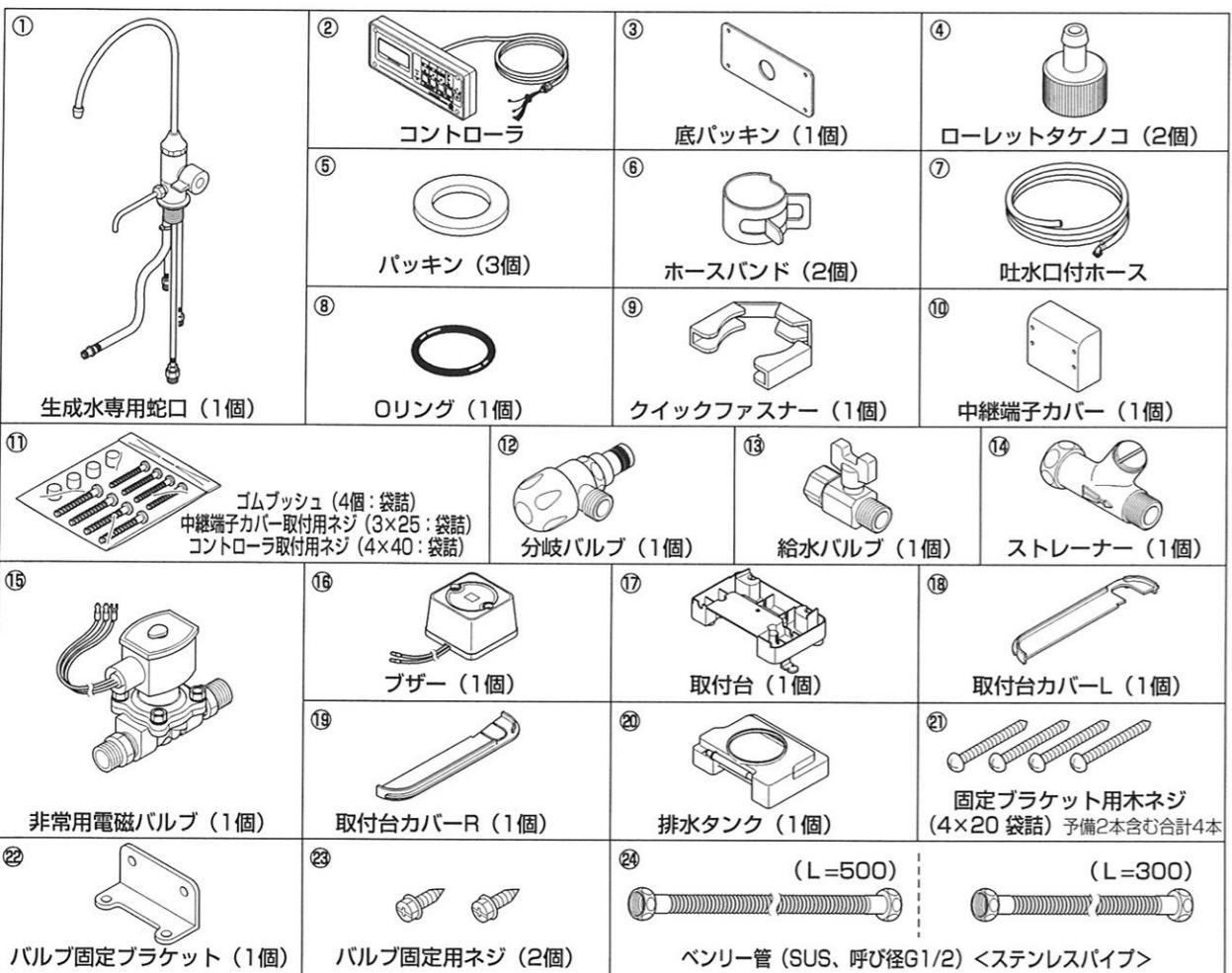
交換必要スペース



●工事の際に、流し台の構造や材質などの確認が必要になった場合は、キッチンメーカーへお問い合わせください。

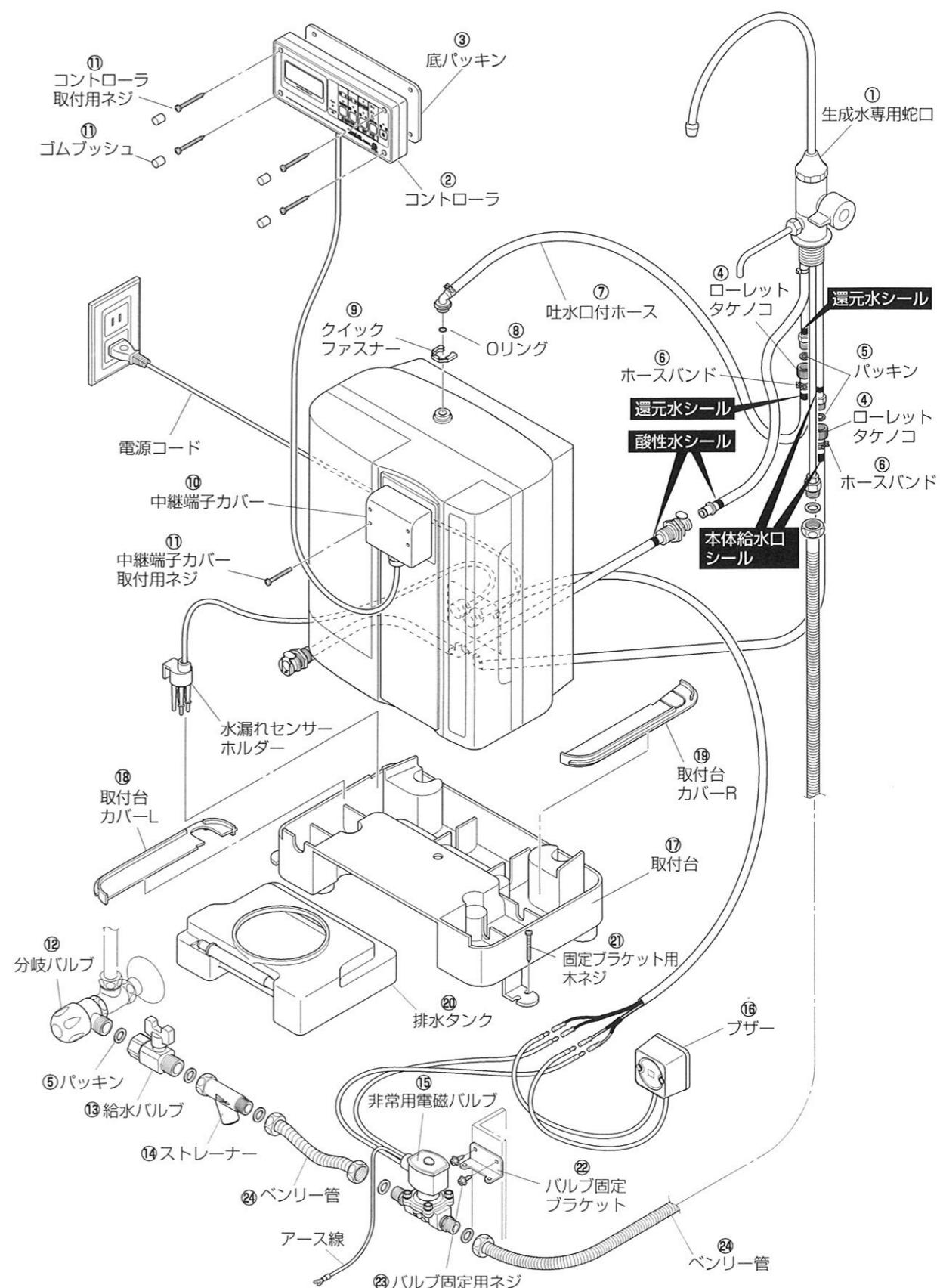
付属部品一覧

■開梱時、下記の付属部品を確認してください。



付属部品の確認

■各付属部品を使用する位置を確認してください。



オプション一覧

流し台や配管方法によって必要な部品

給水ホースを延長する場合 ●ベンリー管 (SUS、呼び径G1/2) <ステンレスパイプ> 	●ニップル 	付属の分岐バルブで対応できない場合 ●片ナットチーズ 	ステンレス製のワークトップで補強板が付いていない場合、または補強板が付いていても、ワークトップとの厚さが5mm以下の場合 ●補強板 (厚さ10mm~15mm)
-----------------------------------------------------	-----------	-----------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------

(オプション品については、シンクの種類・フロアキャビネットに合ったもので対応してください。)

工具一覧

工事には、下記の工具が必要です。(別途準備してください。)

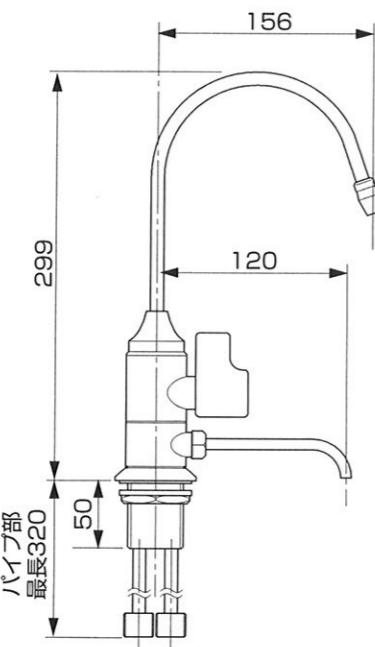
電気ドリル	ホールソー サイズ ● φ28~32 ● φ38~40 ● φ50 (コントローラを壁に取り付ける場合)	パイプレンチ、または モンキーレンチ	ドライバー シールテープ	● スケール ● ハサミ ● カッター ● ヤスリ ● ペンチ ● ブライヤー
-------	------------------------------------------------------------------	-----------------------	-----------------	--------------------------------------------------------

* ワークトップの穴あけや、配管・コード用の貫通穴を開ける場合に使用します。

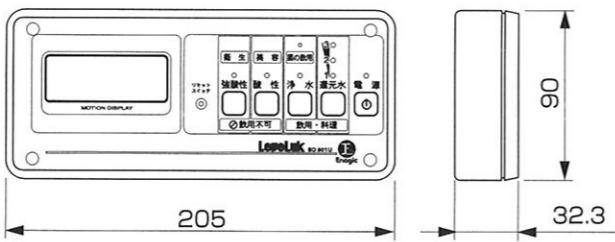
寸法図

(単位: mm)

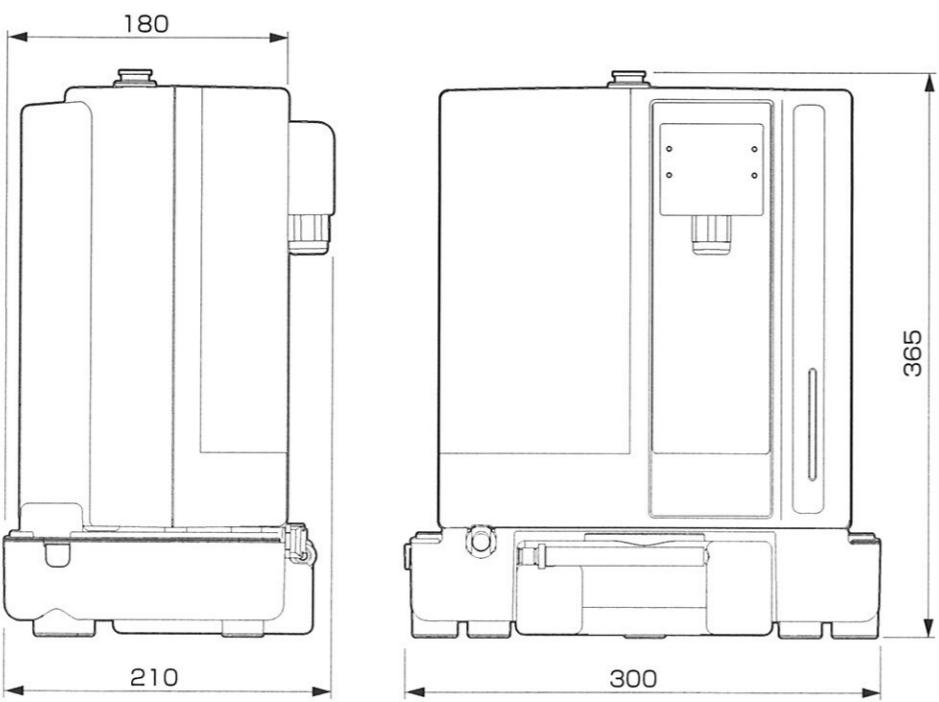
■生成水専用蛇口



■コントローラ



■生成器本体



作業の流れ

施工上のお願い

P.5

付属部品の確認

P.7

施工前の確認

P.10

本体の取り付け手順

P.12

1.コンセントの取り付け ······ P.12

2.付属配管部品の取り付け ······ P.13

3.カウンタートップの穴あけ ······ P.15

4.生成水専用蛇口の取り付け ······ P.16

5.コントローラ取り付け用の穴あけ ······ P.17

6.コントローラの取り付け (事例) ······ P.18

7.取付台と本体の接合 ······ P.19

8.配管の接続 ······ P.20

9.コントローラの接続 ······ P.22

本体の固定

P.23

本体設置と、接続の確認

P.24

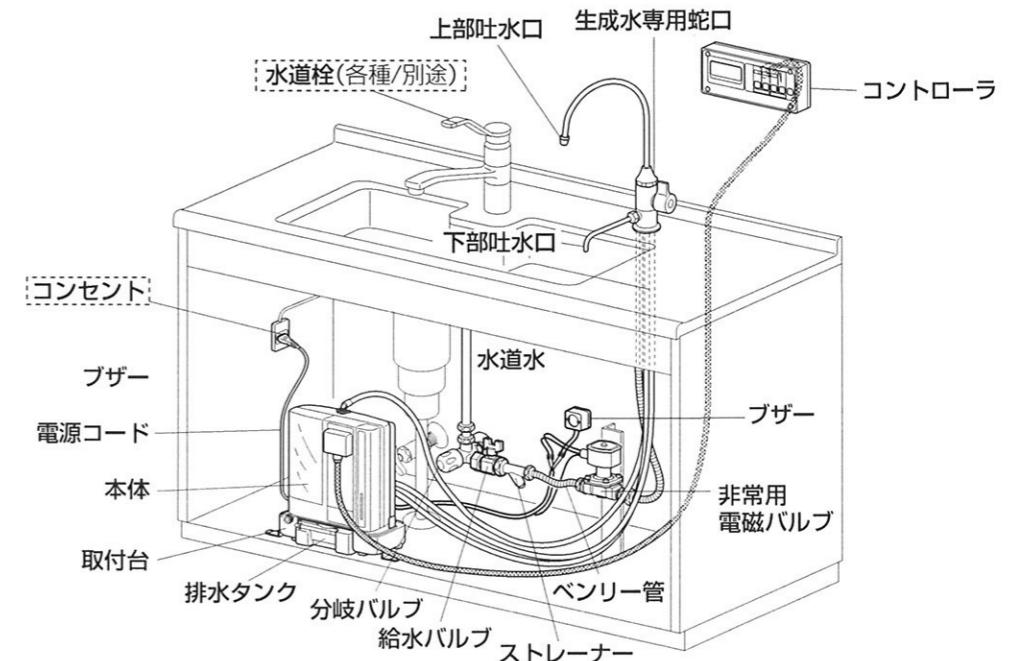
最終点検(水漏れ、動作)

P.25

正常に作動しないとき

P.27

施工例



施工前の確認

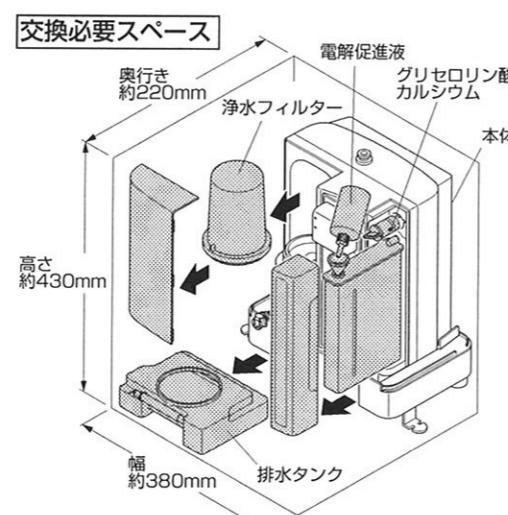
施工前の確認

■設置を行う前に、下記の条件を必ず確認してください。

⚠ 注意

- 設置場所は、流し台(キャビネット内)に取り付けますが、浄水フィルターの交換・排水タンクの取りはずしおよびグリセロリン酸カルシウム・電解促進液の添加が容易な位置であること。
- シンク下、本体取付位置付近に、交流100Vのコンセントがあるか、もしくは取付可能であること。
- シンク下、本体取付位置付近に、給水分岐があるか、もしくは分岐可能であること。

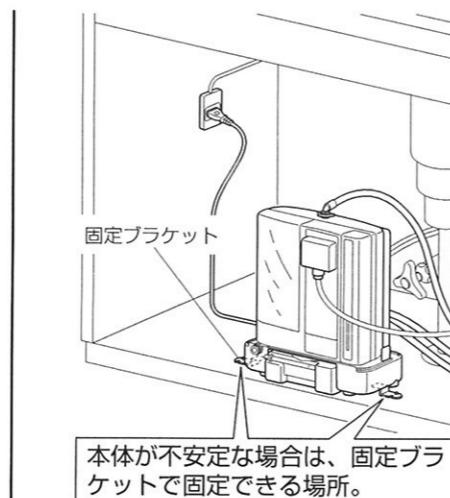
※設置スペース
高さ 430mm 幅 380mm 奥行き 220mm



■コントローラの設置場所

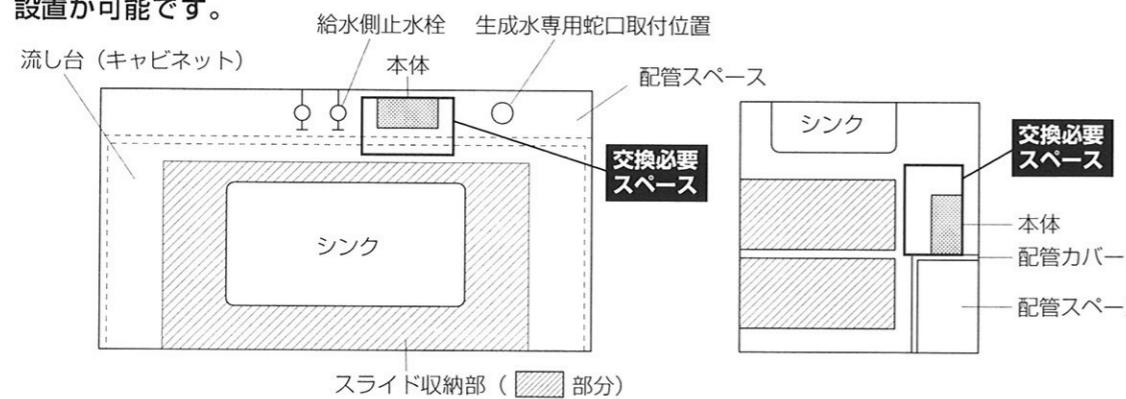


■本体の固定



⚠ 注意

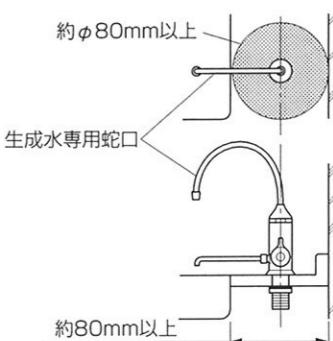
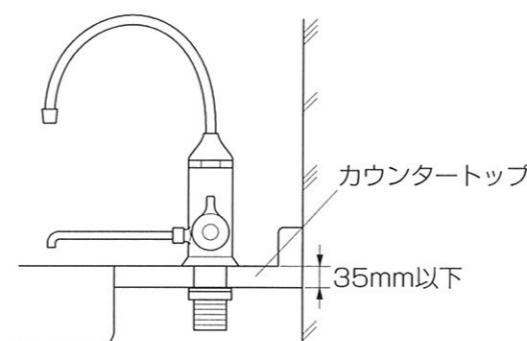
- 引出し式キッチンの場合、浄水フィルター交換等で上記の必要スペースが確保できる場合にのみ設置が可能です。



■生成水専用蛇口の取り付けに必要な条件を必ず確認してください。

⚠ 注意

- カウンタートップや流し台(キャビネット内)が、厚さ35mm以上の場合には施工できません。
- 生成水専用蛇口を取り付ける際の施工スペースを確保してください。

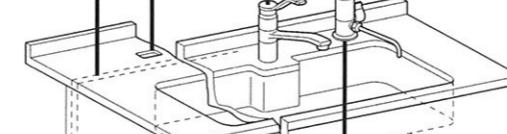


■生成水専用蛇口の位置決めのポイント

後板にあたらない所

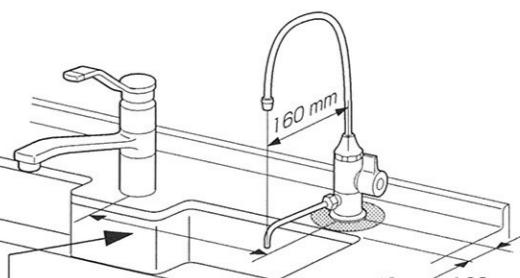
シンクポケット(石けん、洗剤入れ)にあたらない所

水道栓にあたらない所



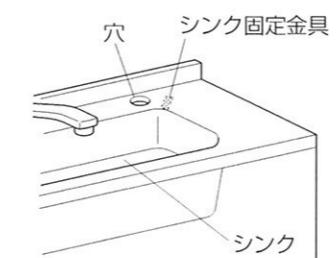
上部／下部の吐水がシンクの中に流れれる所

- 生成水専用蛇口のセンターからシンクまでが、約40mm～120mmの位置に設置する。

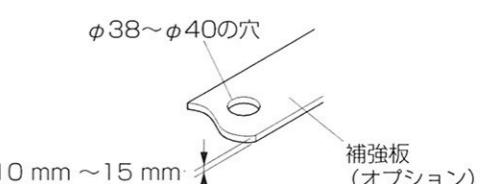


※生成水専用蛇口底部がカウンタートップの段差や曲面に乗り上げない位置

裏側にシンク固定金具がない所



- ステンレス製のカウンタートップで補強板が付いていない場合、または補強板が付いていても、カウンタートップと合わせた厚さが5mm以下の場合は補強板(オプション)が必要です。

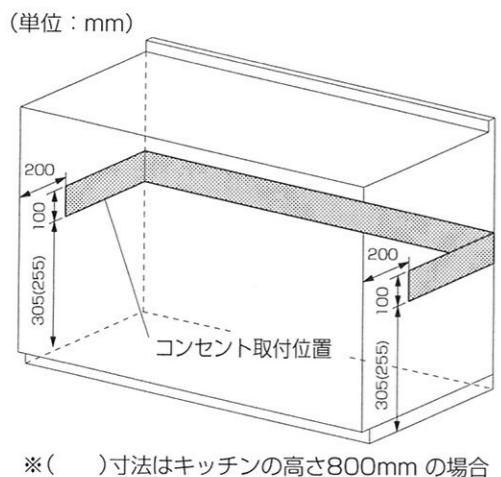


※上図は右側に生成水専用蛇口を設置した場合を使用して説明していますが、左側に設置する場合も位置決めのポイントや施工の手順は同じ要領です。

【本体の取り付け手順

本体の取り付け手順

1. コンセントの取り付け



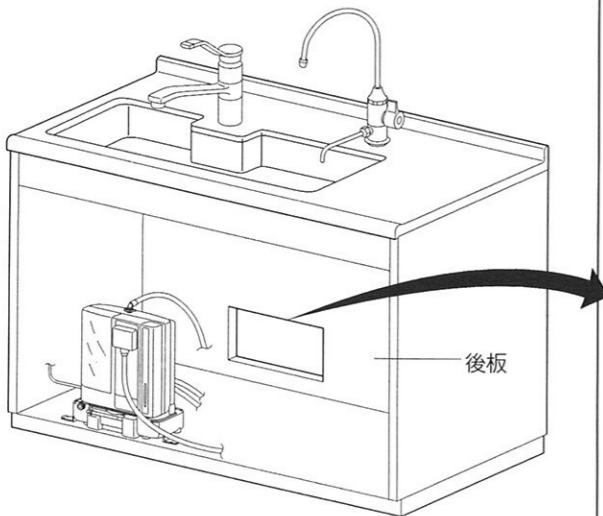
※()寸法はキッチンの高さ800mmの場合

■キッチンのキャビネット内または配管スペースに、本体電源用のコンセント(AC100V)が必要です。

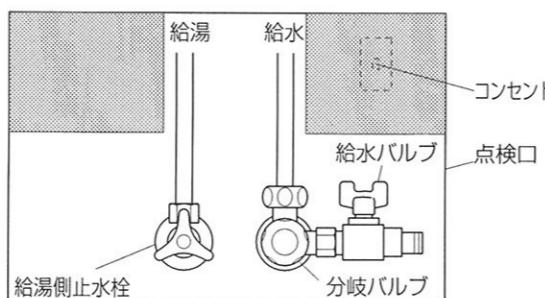
- コンセントは、キャビネット庫内の [] の範囲内で、本体接地側に取り付けてください。
- 電線引き出し位置・コンセント取り付け位置は、キッチンの高さに合わせて調整してください。
- 指定の範囲に取り付けできない場合は、電源プラグがすぐに取りはずせる位置を選んで、コンセントを設置してください。

キャビネット内にコンセントが固定できない場合

- キャビネット外(配管スペース)にコンセントを取り付けてください。



点検口 [] 範囲内に設置してください。



- コンセントは次のような場所に設置してください。
 - ・止水栓・給水バルブより上
 - ・電源プラグの抜き差しがしやすいところ
 - ・配管からの水漏れ・結露水がコンセントにかかるないところ

△注意

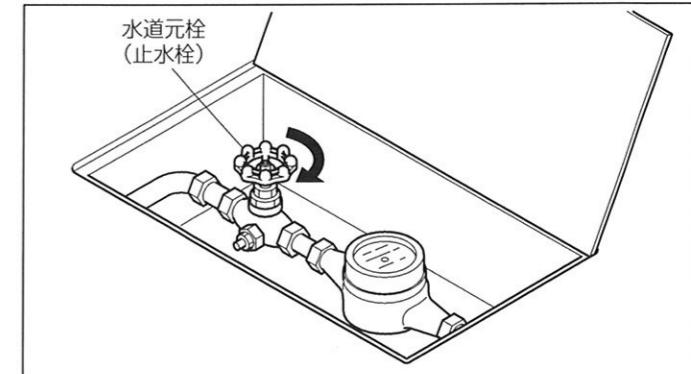
- 給湯側止水栓には接続しないでください。
- 配管スペースにコンセントを設置する場合、点検口のふたは、緊急時などに手で簡単にはずせるようにし、ネジ止め固定はしないでください。
万一の異常発生時に、電源プラグが抜けず、漏電・発火の原因になることがあります。

2. 付属配管部品の取り付け

1. 水道元栓(止水栓)を閉める。

△注意

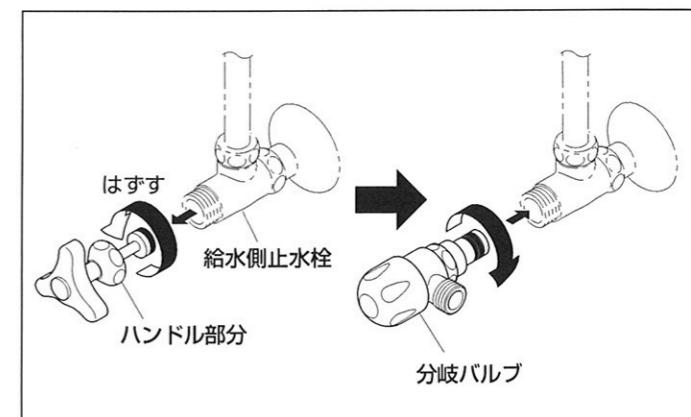
- 水道元栓(止水栓)が閉まっていることを必ず確認してから作業を始めてください。



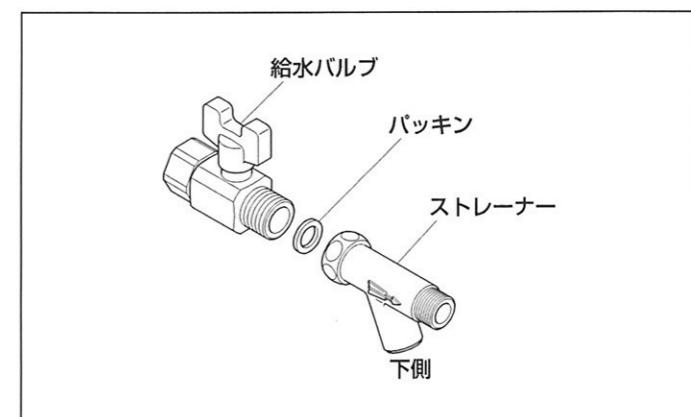
2. 給水側止水栓のハンドル部分を取りはずし、分岐バルブを取り付ける。

△注意

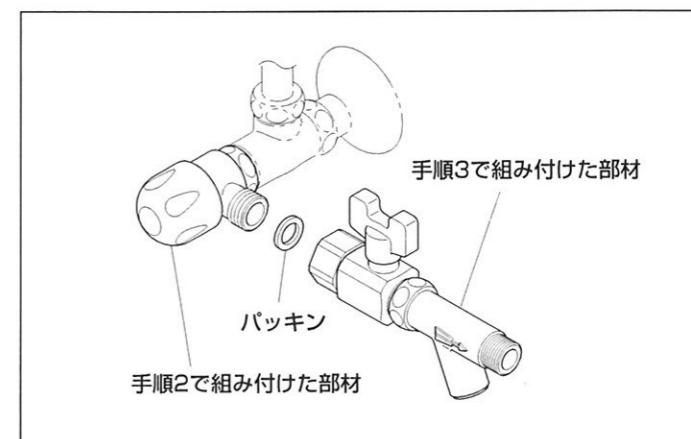
- 給湯側止水栓には取り付けないでください。



3. 給水バルブにストレーナーの分岐部分が下側になるように取り付ける。
●ストレーナーに付属しているパッキンを使用してください。



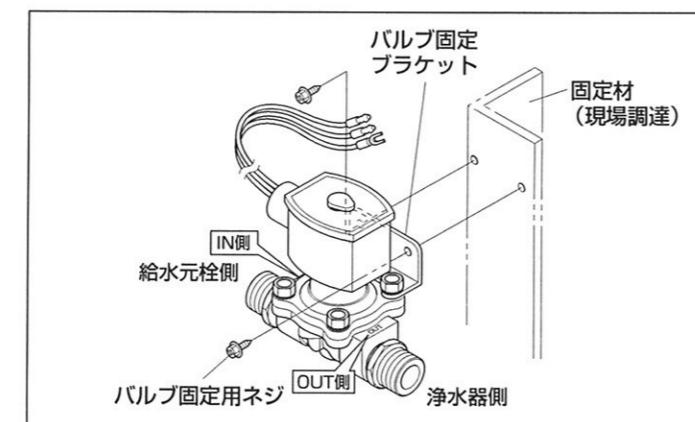
4. 手順2で取り付けた分岐バルブに、手順3で組み付けた部材を取り付ける。
●パッキン(付属)を使用してください。



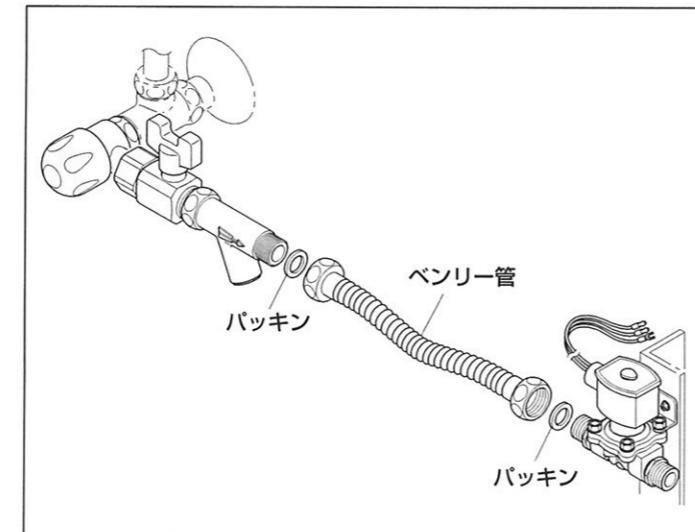
- 5.** 非常用電磁バルブのボルト2ヶ所をはずし、バルブ固定ブラケットを取り付ける。



- 6.** 非常用電磁バルブを水平に固定するため、バルブ固定ブラケットをバルブ固定用ネジで固定材(現場調達)に固定する。



- 7.** 手順4で組み付けた部材と、非常用電磁バルブをベンリー管で接続する。
●ベンリー管に付属しているパッキンを使用してください。



- 取り付け順序を誤らないでください。各配管部品はメンテナンス時に操作しやすい向きに取り付けてください。
- オプション部品についてはシンクの種類・フロアキャビネットに合ったもので対応してください。(P.6 オプション一覧参照)

3. カウンタートップの穴あけ

- カウンタートップに生成水専用蛇口を取り付ける穴をあけてください。



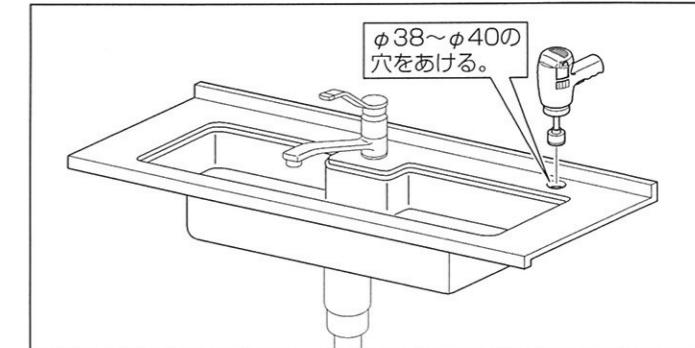
※下記を守らないと、補償問題になることがあります。

- 天然大理石、ホーローのカウンタートップには、絶対に取り付けないでください。(カウンタートップを破損する原因になります。)
- カウンタートップが厚さ35mm以上の場合は、穴あけしないでください。(取り付けができませんので、万一、穴をあけた場合に補償問題になることがあります。)
- カウンタートップの穴あけには、材質に合った工具を使ってください。(特殊なものについては、キッチンメーカー指定の工事方法で行ってください。)無理に穴あけすると、カウンタートップを破損する原因になります。
- カウンタートップの厚みを考慮し、厚さ35mmに対応できる工具を使用してください。
- カウンタートップに穴をあける際は、本体や止水栓に切りくずが入らないようにしてください。(通水路に切りくずが入ると、故障や水漏れの原因になります。)
- 電気ドリルは、使用するホールソーに適したものをご用意ください。
- インパクトドライバーや振動ドリルなど、たたきつけながら穴をあける工具は、使用しないでください。(カウンタートップが変形・破損する原因になります。)
- 工具を、無理な力でカウンタートップに押し付けないでください。(カウンタートップが変形・破損する原因になります。)
- 硬い人工大理石カウンターの場合は、予備の工具(ホールソー替刃)をご用意ください。(刃が摩耗して、穴あけしにくくなります。)

- 1.** 生成水専用蛇口を取り付けるための穴位置を決める。
●穴をあける位置を慎重に決めてください。



- 「施工前の確認」のP.11を必ず参照してください。



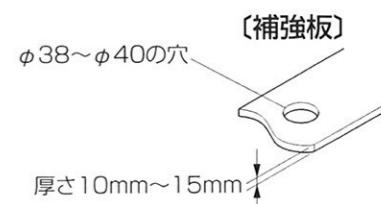
- 2.** ホールソーでφ38~φ40の穴をあける。



- 穴あけ後、バリやエッジをヤスリなどできれいに取り除いてください。
- 穴あけ作業終了後は、切削くずをきれいに取り除いてください。

ステンレス製のカウンタートップで補強板が付いていない場合
(また、補強板が付いていても、カウンタートップと合わせた厚さが5mm以下の場合)

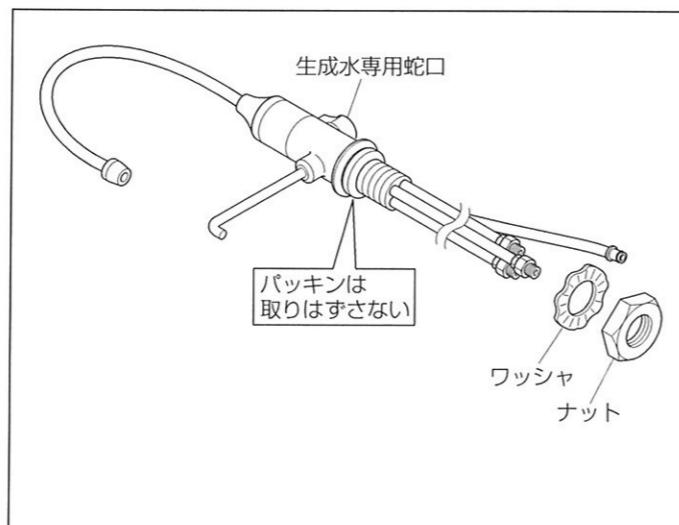
厚さ10mm~15mmの補強板にφ38~φ40の穴をあけ、
カウンタートップの内側に両面テープなどで取り付けて
補強してください。(P.6 オプション一覧参照。)



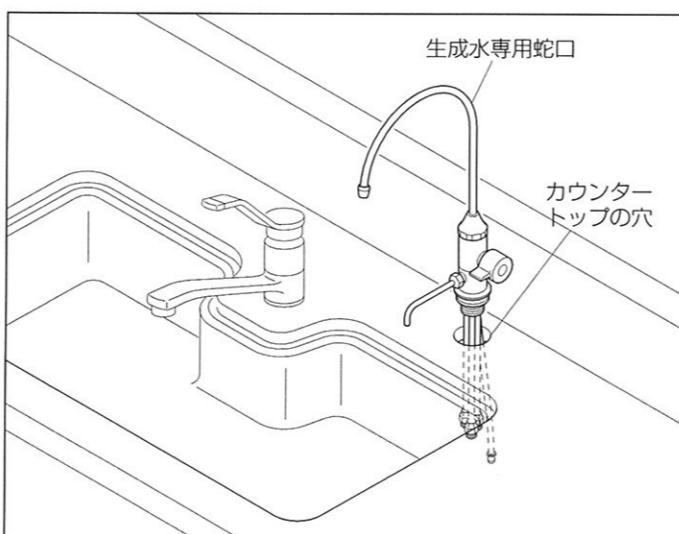
4. 生成水専用蛇口の取り付け

■生成水専用蛇口を取り付ける前に、穴の周囲のごみや汚れをきれいに取り除いてください。

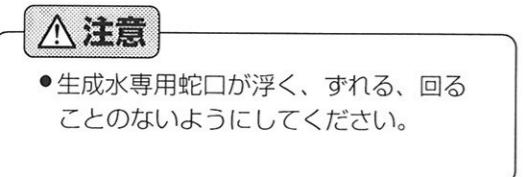
1. 生成水専用蛇口に付属しているワッシャおよびナットを取りはずす。



2. カウンタートップにあけた穴に生成水専用蛇口を差し込み、蛇口の向きを決定する。



3. カウンタートップの裏側から、取りはずしたワッシャ、ナットを元の順で取りつけ、締め付け固定する。
・締め付けが弱いと、生成水専用蛇口のガタツキや、流し台内部への水漏れの原因となります。



5. コントローラ取り付け用の穴あけ

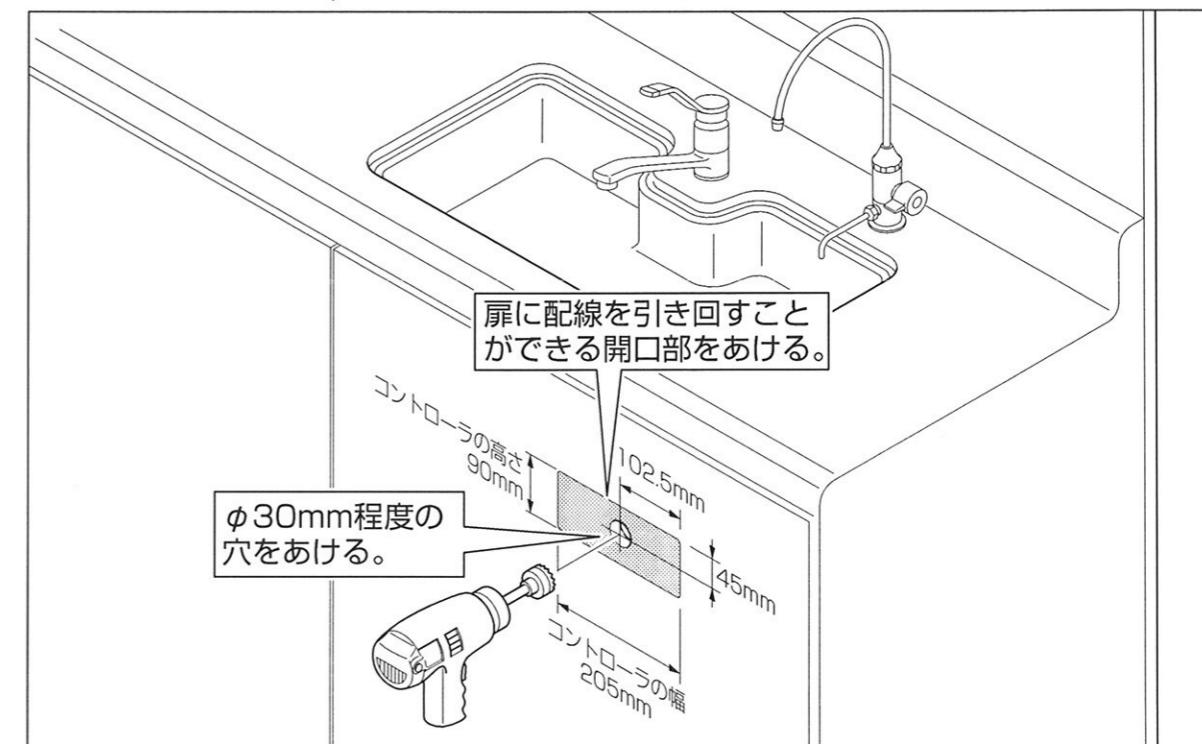
■コントローラを取り付ける穴をあけてください。(取り付け部の各条件により異なります。)

△ 注意

- コントローラ取り付け位置は、お客様(施主様)とご相談ください。
- 取り付け部が厚さ50mm以上のコンクリートの場合は、穴あけしないでください。
(取り付けができませんので、万一、穴をあけた場合に補償問題になることがあります。)
- 取り付け部に穴をあける際は、壁内部に切りくずが入らないようにしてください。
- 取り付け部の厚みを考慮し、厚さ50mmに対応できる工具を使用してください。
- 取り付け部の裏側が空洞になっているかどうか確認してください。
- 穴あけには、材質に合った工具を使うようにしてください。
(特殊なものについては、キッチンメーカー指定の工事方法で行ってください。
無理に穴あけすると、取り付け部を破損する原因になります。)
- 電気ドリルは、使用するホールソーに適したものをご用意ください。
- インパクトドライバーや振動ドリルなど、たたきつけながら穴をあける工具は、使用しないでください。
(取り付け部が変形・破損する原因になります。)
- 工具を、無理な力で押し付けないでください。
(材質が変形・破損する原因になります。)
- 硬い材質の場合は、予備の工具(替刃)をご用意ください。
(刃が摩耗して、穴あけにくくなります。)

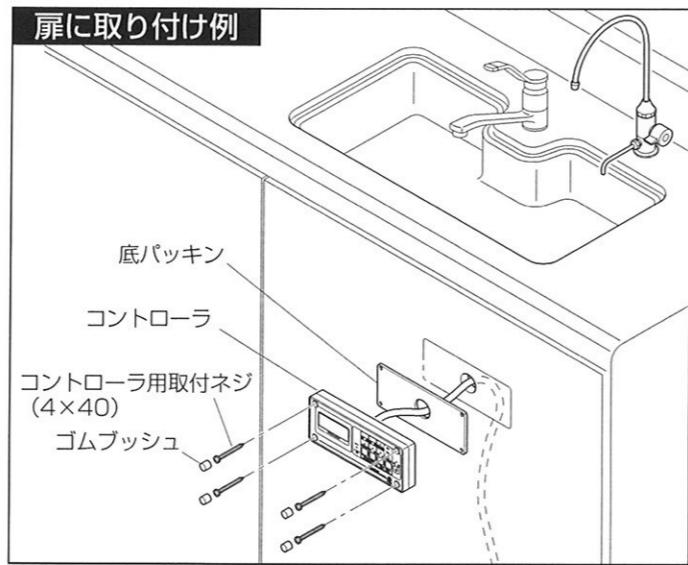
●扉に穴をあける位置を決める（扉に取り付ける場合）

- コントローラの中央にφ30程度の穴をあける。

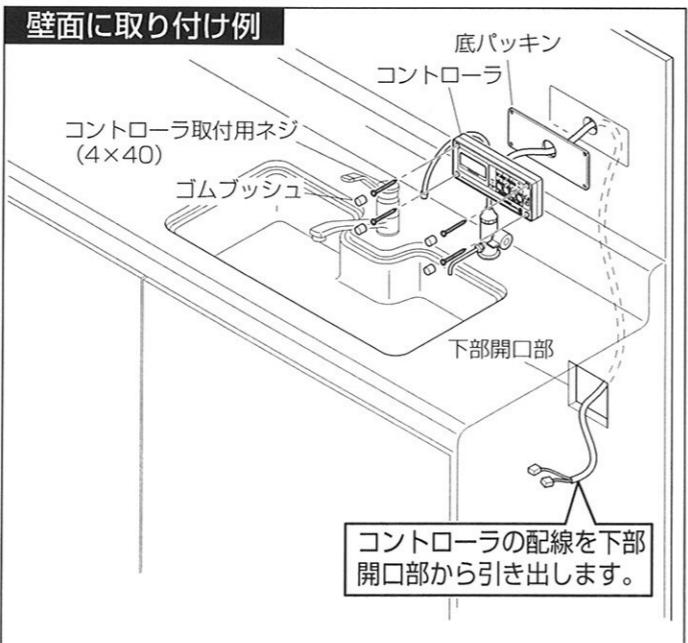
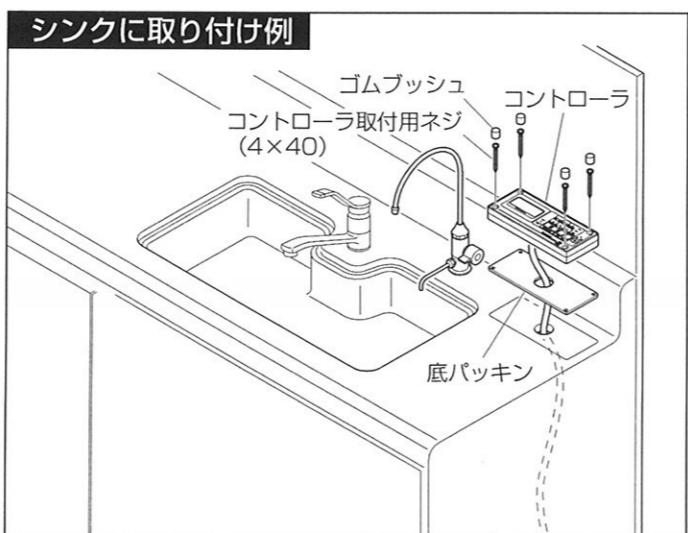


6. コントローラの取り付け（事例）

底パッキンをはさんでコントローラをコントローラ取付用ネジ(4×40)で固定します。



- 配線は無理に引っ張らないでください。
(断線するおそれがあります)

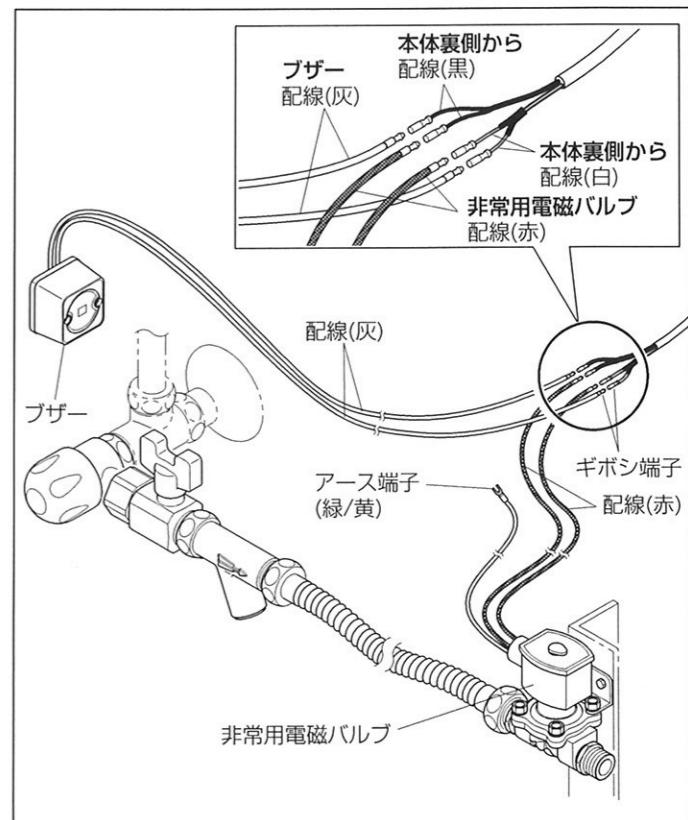


7. 取付台と本体の接合

- 非常用電磁バルブの配線(赤)と、ブザー(付属)の配線(灰)を本体後ろ側のギボシ端子にそれぞれ差し込み、ブザーはシンク下の取り付けやすい場所に固定する。



- 取り付ける色に注意してください。
- 端子は最後まできっちり差し込んでください。
- 配線の長さが足りない場合は、一般部品で調節してください。

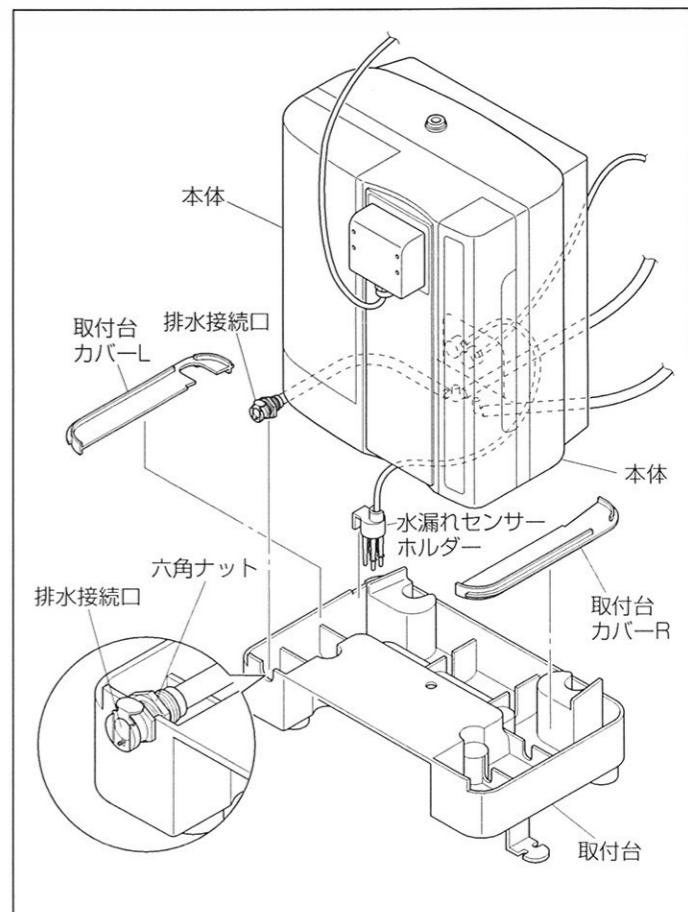


- 本体を取付台に乗せる。

- 水漏れセンサーholダーを取り付台左側に差し込む。
- 排水接続口を取付台左側にはめ六角ナットで排水接続口が図のような向きになるように取付台に固定する。
- 本体を取付台に乗せる。
- 取付台カバーL/Rを取り付ける。



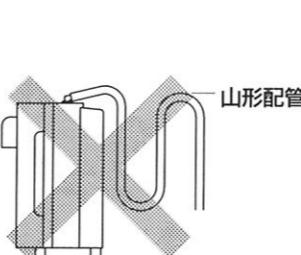
- 不安定にならないように注意してください。
- 電源コード、各配線、各ホースをはさまないように注意してください。



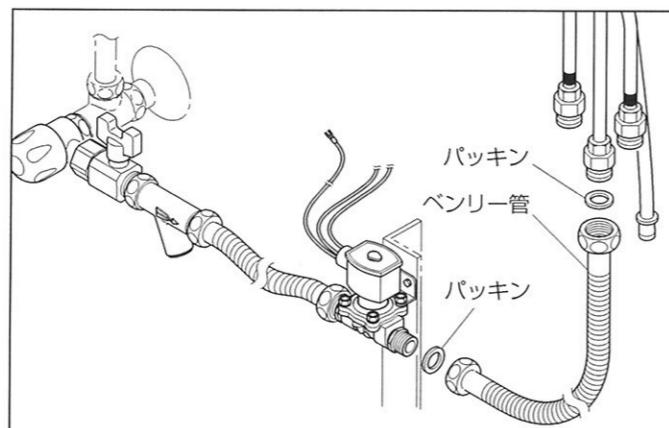
8. 配管の接続

△注意

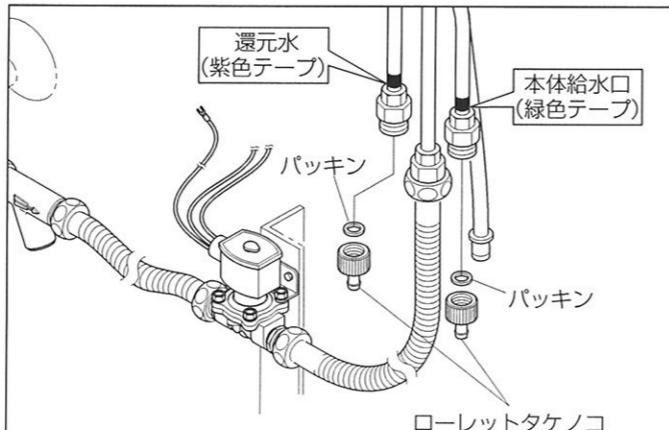
- 各ホースが折れ曲がらないようにしてください。
(水漏れや適切なpH値の水が出ない原因になることがあります。) (悪い例)
- 各ホースは、山形配管にならないよう、適切な長さに切ってください。
(適切なpH値の水が出ない原因になることがあります。)
- ホースは最後まで差し込み、ホースバンドは確実に取り付けてください。
- パッキンをはさみ込まないように取り付けてください。



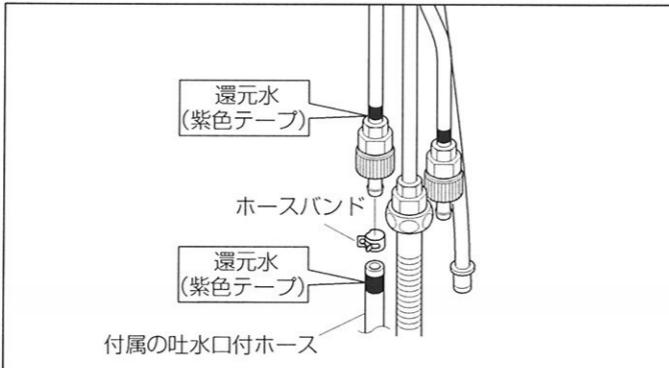
1. 生成水専用蛇口の蛇口吸水口と、ベンリーパイプを接続し、ベンリーパイプの反対側と非常用電磁バルブを接続する。
●ベンリーパイプに付属しているパッキンを使用してください。



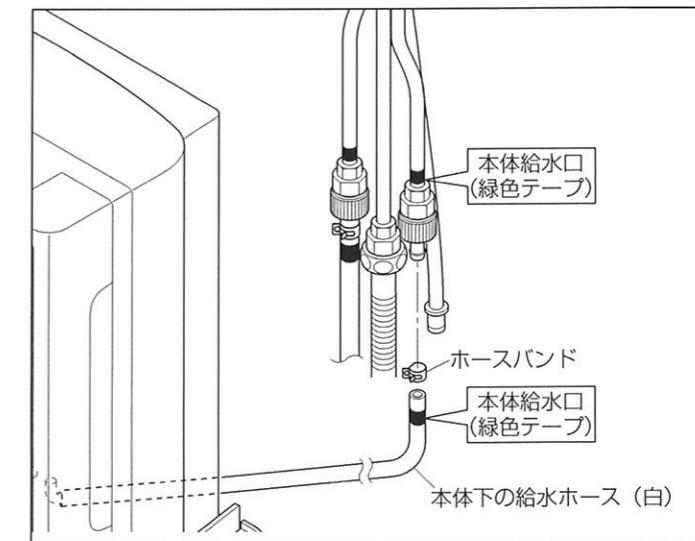
2. 生成水専用蛇口の銅管2本(緑色テープ、紫色テープ)に、パッキンを入れたローレットタケノコを取り付ける。



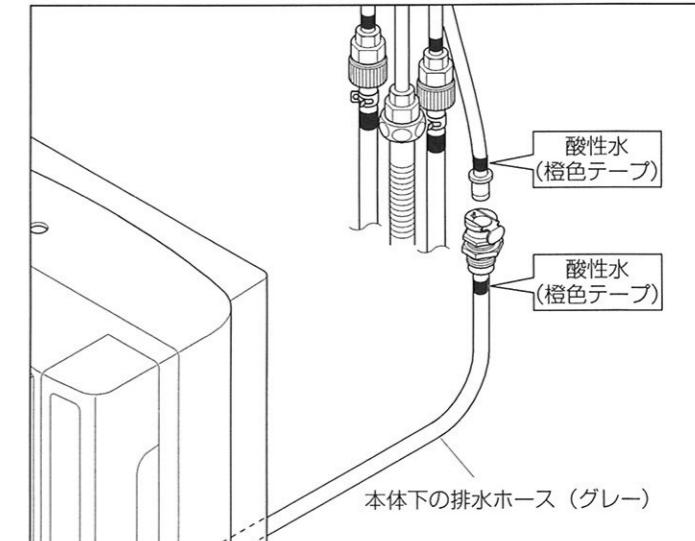
3. 付属の吐水口付ホース(紫色テープ)を手順2で取り付けたローレットタケノコ(紫色テープ)に差し込みホースバンドで固定する。



4. 本体下の給水ホース(白)(緑色テープ)にホースバンドをはめ、手順2で取り付けたローレットタケノコ(緑色テープ)に差し込み、ホースバンドで固定する。



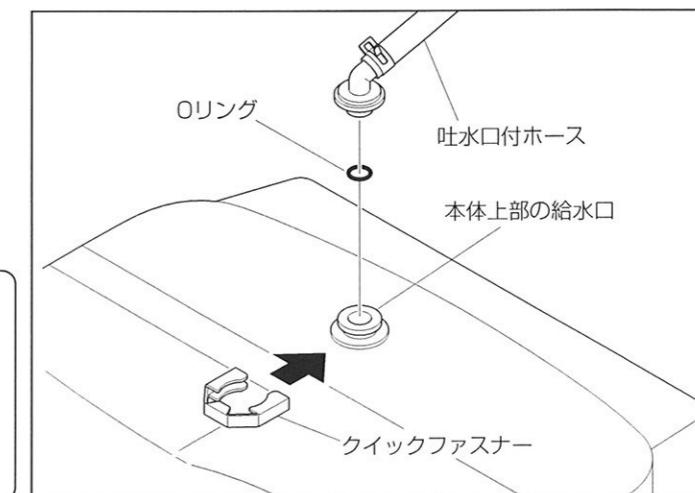
5. 本体下の排水ホース(グレー)(橙色テープ)と、生成水専用蛇口のグレーHose(橙色テープ)をカチッと音がするまで差し込む。



6. 吐水口付ホースにOリングをはめ、本体上部の給水口にクイックファスナーで接続する。

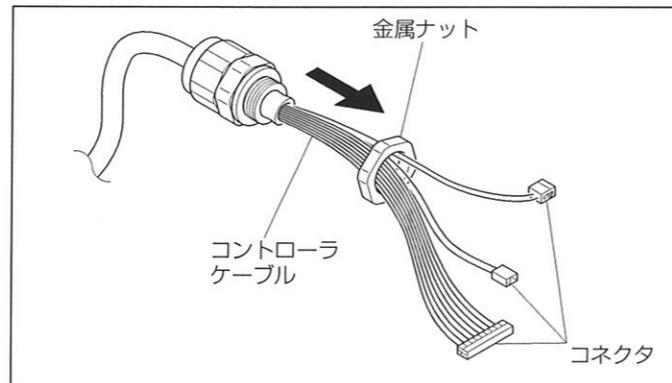
△注意

- Oリングがはまっていることを確認して接続してください。
- クイックファスナーがしっかりとはまっていること確認してください。

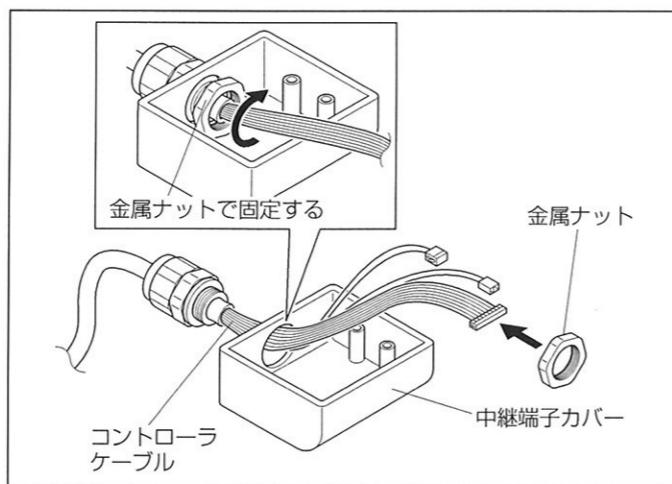


9. コントローラの接続

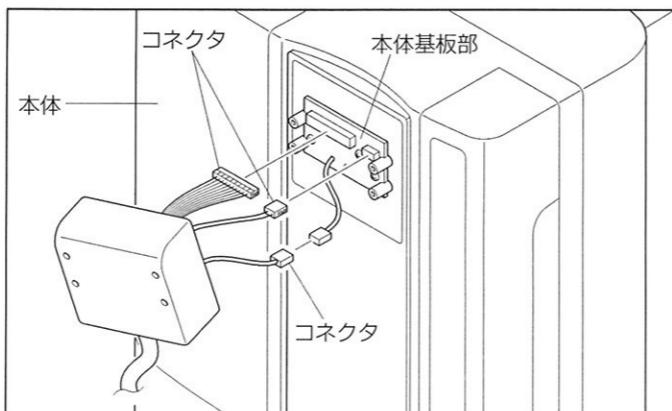
1. コントローラケーブルのコネクタ側に付いている金属ナットを取りはずす。



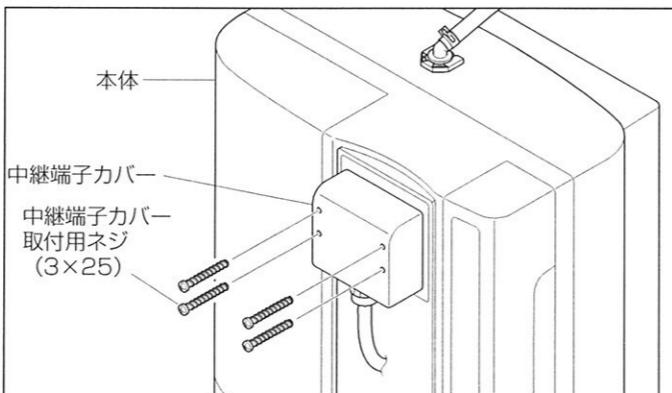
2. コントローラケーブルを中継端子カバー(付属)に通し、金属ナットでケーブルを固定する。



3. コントローラケーブルのコネクタ3ヶ所を本体基板部に接続する。

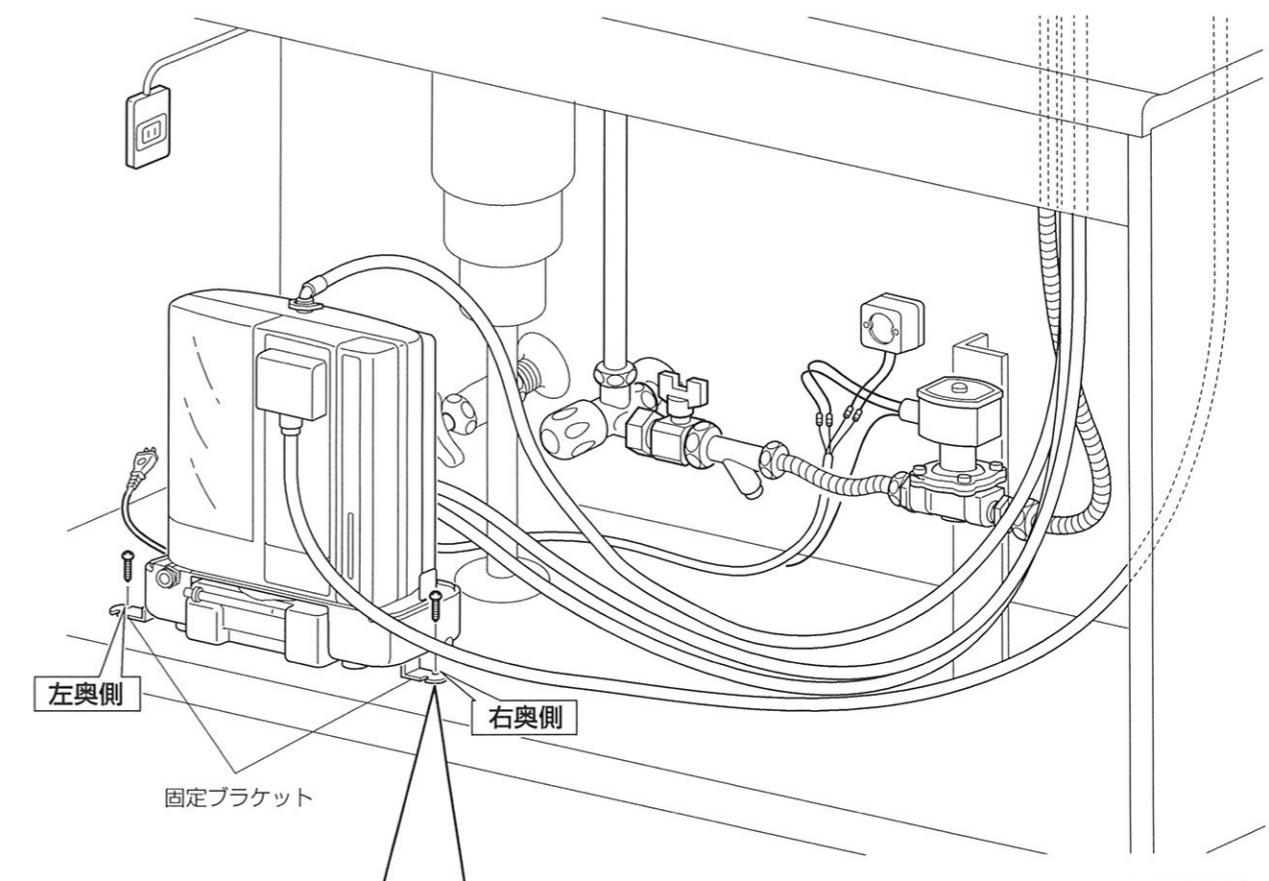


4. 中継端子カバーを本体前面に取り付ける。
●中継端子カバー取付用ネジ(3×25)を使用してください。



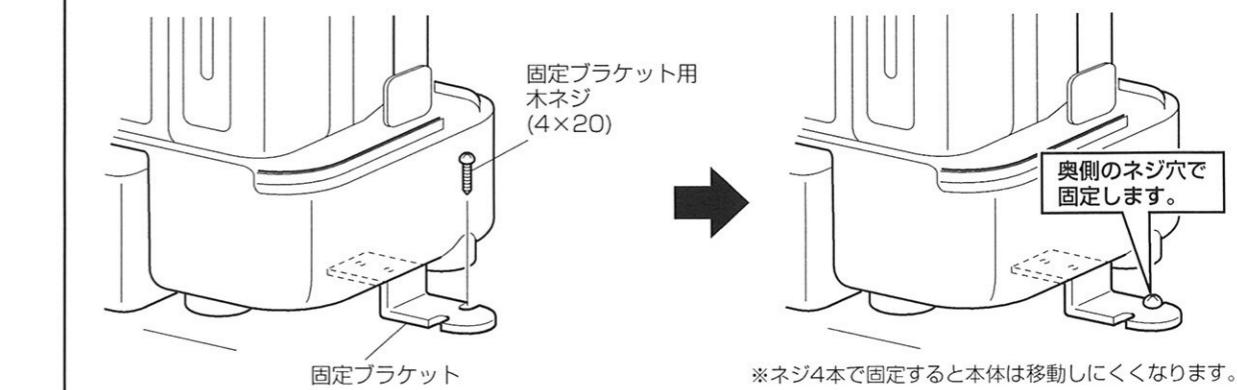
10. 本体の固定

■各配線・配管の接続が完了後、本体を付属の固定ブラケット用木ネジで両側共固定する。

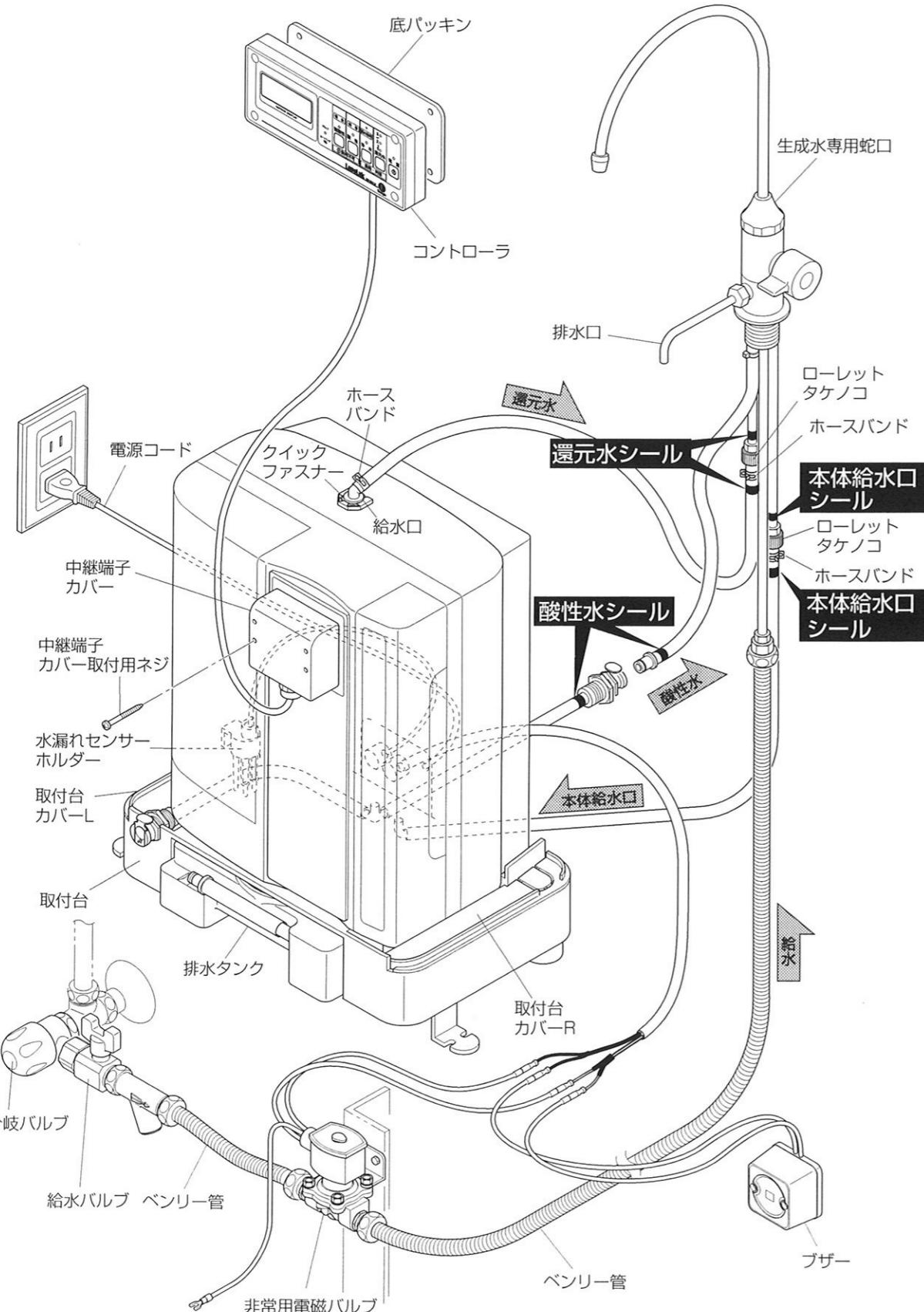


本体の固定

固定ブラケット用木ネジ(4×20)は4本同梱していますが固定ブラケットに固定する場合は左右の奥側2本で固定してください。



【本体の設置と、接続の確認】



【最終点検（水漏れ、動作）】

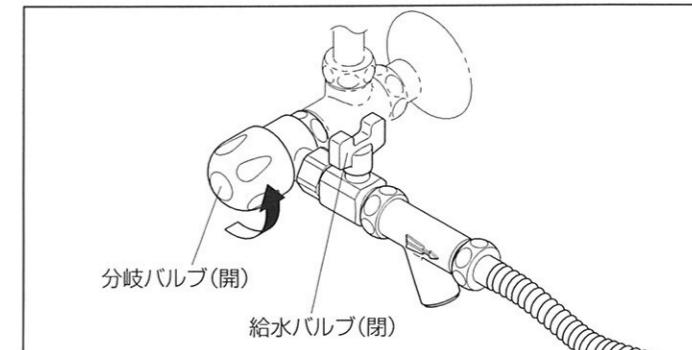
△注意

- 最終点検時は、生成水専用蛇口を含む配管接続部全体の水漏れ点検を十分におこなう。万一、水漏れが起こると、大きな補償問題になることがあります。
- 本体に水を通す前に、配管内部のゴミなどを出すため必ず分岐バルブを開いて、水道栓から水を出してください。(ゴミがストレーナー、電磁弁につまると、誤動作の原因になります。)
- 配管接続部の水漏れは、必ず各モード選択ボタンを押して、確認してください。

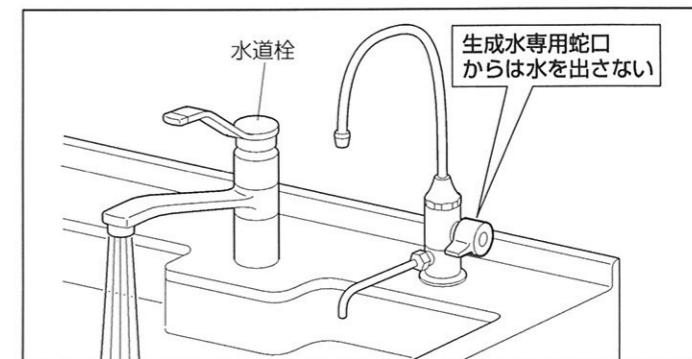
1. 水道元栓(止水栓)を開き、分岐バルブを開く。

△注意

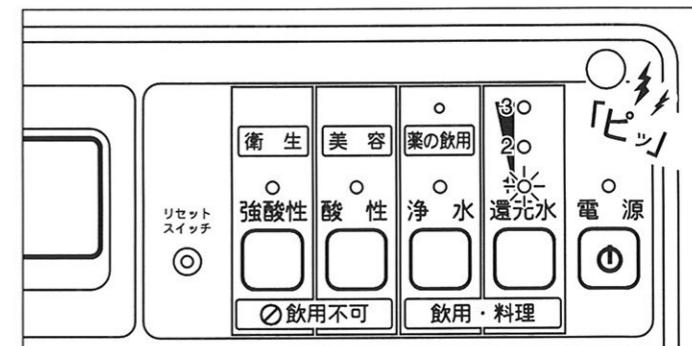
- 給水バルブが閉まっていることを確認してください。



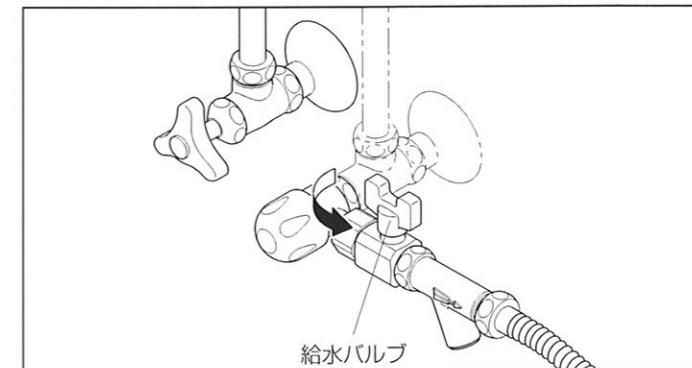
2. 水道栓を開く。
(配管内のゴミなどを出すため)



3. 本体の電源プラグを、コンセントに差し込む。(コントローラ内部から「ピッ」と音が鳴ります。)

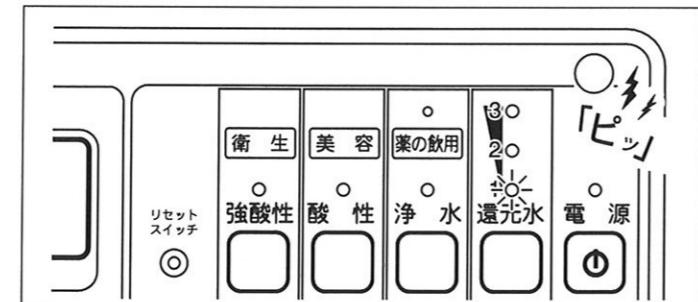


4. 給水バルブを開く。



5. モード選択ボタンを押し、操作パネルの動作を確認する。

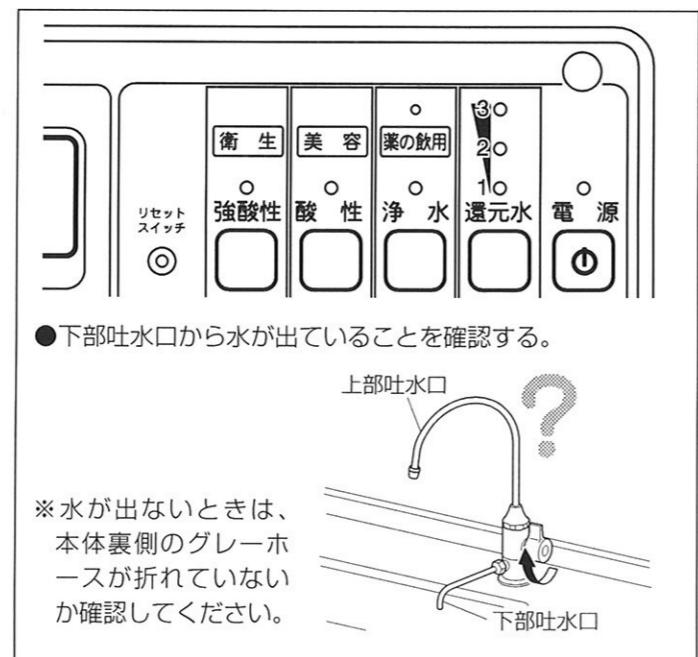
- モード選択ボタンを押したとき、音が「ピッ」と鳴るか確認する。



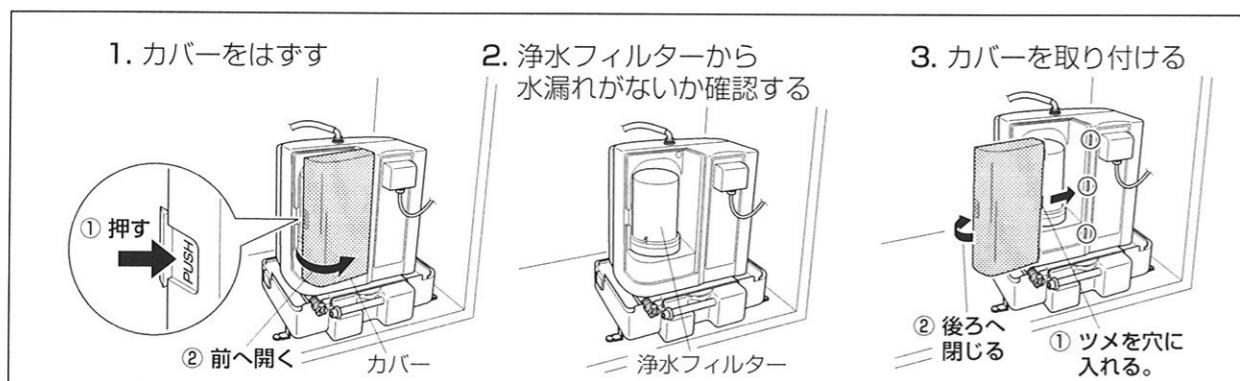
- 下記の手順でモード選択ボタンを押し、選択したモードの表示ランプが点灯するか確認する。

還元水 (還元水「1」点灯) ⇒ 還元水 (還元水「2」点灯) ⇒
還元水 (還元水「3」点灯) ⇒ * (浄水点灯) ⇒
酸性 (酸性点灯) ⇒ 強酸性 (強酸性点灯) ⇒

6. 還元水ボタンを押し、生成水専用蛇口を開き、還元水を約15リットル(約3分間)流す。 (浄水フィルター内の空気抜きのため)



7. 配管の接続部および浄水フィルターから水漏れがないか確認する。 (浄水フィルターからの水漏れは、生成器本体のカバーをあけて確認してください。)



正常に作動しないとき

最終点検時トラブル対応表

トラブル	対応（チェック項目）	参照ページ
電源プラグをコンセントに差し込んでもコントローラのランプが点灯しない	コントローラのコネクターは、確実に接続されていますか？	P.23
コントローラのボタン操作ができないまたは、動作に異常がある		
生成水専用蛇口から水が出ない	止水栓のストレーナーは、取り付けられていますか？ ※ゴミが電磁弁に詰まると、止水できなくなります。	P.13
	各ホースが折れ曲がっていませんか？ 水道元栓・分岐バルブ・給水バルブは開いていますか？	
水漏れしている	各配管の接続部は、ホースバンドやクイックファスナー、インシュロックで確実に締め付けていますか？	P.20~22
	Oリング、パッキンの入れ忘れ、または破損はありませんか？	
温水が出る	給水分岐を給湯側から取っていないか？	P.13

最終点検チェックリスト

チェック項目	チェック内容	チェック
水漏れ（最大水圧） (浄水フィルターカバーとタンク) (カバーをはずした状態で約5分程度)	接合部から、水漏れしていないか 浄水フィルター部から、水漏れしていないか 生成水専用蛇口から、水漏れしていないか 本体から、水漏れしていないか	未・済
動作	通水量確認後、通常使用モードに設定したか 各ボタンは、正しく動作するか 各ランプは、正しく点灯するか 音声は、正しく聞こえているか	未・済
お客様への連絡事項		
チェック日	年月日	設置会社 TEL () - 担当者

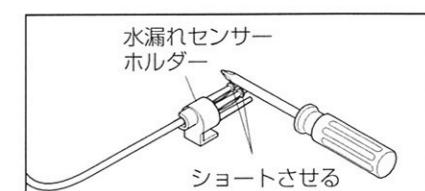
●工事終了後、本「施工説明書」は、最終点検チェックリストに必要事項を記入の上、取扱説明書・保証書と一緒に必ずお客様（施主様）にお渡し下さい。

●本体設置時に水漏れ動作確認ができない場合は、お客様（施主様）引き渡し前までに必ず点検を行ってください。

水漏れセンサーのチェック方法

- 水漏れセンサーの電極間をドライバー等でショートさせた時、ブザーが鳴り電磁弁が作動して、給水停止するかチェックしてください。

※鳴らない場合は、配線が正しく接続されているか確認してください。



標準仕様

品名・品番		LevelukSD501U (アンダーシンクタイプ) TYU-401E	
給水仕様・接続		給水元止め方式	
電 源		AC100V 50/60Hz	
定格電流		3.2A	
消費電力		約230W(還元水pH濃度強生成時)	
本体(取付台付)	寸 法	高さ365 × 幅300 × 奥行210 (mm)	
	重 量	7.2kg	
電 解 方 式		連続式電解方式(流量センサー内蔵)	
電 解	処理水量	還元水:4.5ℓ/分～7.5ℓ/分(水道圧0.2MPa) 強酸性水:0.6ℓ/分～1.2ℓ/分(水道圧0.1MPa)	
	生成水切り替え	7段階	還元水/3段階(約pH8.0～pH9.5) 淨水(中性・約pH7.0) 酸性水(約pH5.5～pH6.5) 強酸性水(約pH2.4～pH2.7) 強還元水(約pH11～)
	連続使用可能時間	常温時 還元水 約60分間／強酸性水 約30分間	
	電解槽洗浄方式	自動洗浄方式(洗浄時期をマイコンで制御)	
	電解槽電極材質	チタン白金メッキ	
淨 水 フ ィ ル タ ー	ろ過材	粒状抗菌活性炭+亜硫酸カルシウム+鉛除去活性炭	
	遊離残留塩素	総ろ過水量12,000ℓ以上(除去率80% JIS S3201試験)	
	ろ過能力	初期塩素除去	95%以上
		鉛	約6000ℓ
	除去できない成分	原水中に溶けている金属イオン・塩分	
	寿 命	約1年間、または12,000ℓ通水で交換表示(水質により異なります。)	
使用可能水圧		0.05MPa～0.45MPa(約0.5kgf/cm ² ～4.5kgf/cm ²)	
電解促進液(強酸性水生成時)		添加ポンプによる溶液添加方式	
電解促進液補充サイン		音声ガイダンス・アラーム音・液晶ディスプレイによるお知らせ	

- 商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- 電解処理能力及び浄水フィルターの寿命は水質や使用状況により大幅に変わる場合があります。